



白糸ノ滝周辺MAP



白糸の滝・音止の滝

昭和11年、国の名勝及び天然記念物に指定され、昭和25年10月には「観光百選 滝の部」で1位、平成2年には「日本の滝百選」にも選定されています。古くからその見事な眺めが人々に愛されている滝です。戦国時代末から江戸時代初期、富士講の開祖とされる長谷川角行が修行を行った地とされ、富士講を中心とした人々の巡礼・修行の場となつたことでも知られています。富士山が世界遺産として登録された平成25年に、白糸ノ滝も世界遺産構成資産の1つとして登録されました。

白糸の滝

高さ20m、幅150mの湾曲した絶壁の全面にかかる白糸の滝は、本滝の一部を除いてそのほとんどが富士山の湧水。マイナスイオンに包まれてパワーアップ間違いなし!岩壁の間から白い絹糸のように流れるさまは、白糸の名にふさわしく、女性的な美しさと、優しい景観をみせながら周囲にキリリと冷えた風を運んでいます。年間を通じて水温12°C、毎秒1.5トンの湧水が流れ出ていると言われています。

音止(おとどめ)の滝

白糸の滝とは対照的で勇壮な音止の滝。高さ25mの絶壁から轟音をとどろかせているこの滝。その昔、曾我兄弟が父の仇の工藤祐経を討つ相談をしていた際、滝の音で声がさえぎられた為、しばし神に念じたところ一瞬滝の音が止んだという伝説からこの名が残されています。



お問い合わせ
(公社)富士宮市観光協会
0544-27-5240